

# 視 覚 障 害

1989 No.102



●特集●

## 職場復帰の原点

- モーレッツ社員そのまま復帰、和光証券の河野好伸さん——阿佐博——1  
民営化後のNTTに職場復帰した福田善吉さんを訪ねて——小川かほる——11  
京都電子計算機に復帰した南正章さん——眞野哲夫——17

●コラム主張・随想●

遠い距離——岩山光男——23

●talk to talk●

方向転換——新たな生きがいを求めて新職場に意欲を燃やす原田良實さんに聞く——29

弱視教育発展のあゆみ②——大川原潔——39

平成元年度における視覚障害者の大学進学状況について——富田伴七——45

平成元年度における大卒者の就職状況について——岡村文雄——49

インフォメーション・コーナー——51

ISSN 0385-7476

SSK

学芸カセット

文芸カセット◆日本近代文学シリーズ



(1909-1985)

文学の可能性

(岩波の文化講演会)

77年5月収録  
(45分10秒)

# 大岡昇平講演

全2巻

漱石と国家意識

(岩波の文化講演会)

72年10月収録  
(56分20秒)

鋭敏な時代感覚と透徹した論理、また広い読書体験に裏打ちされた、論者の文芸評論家としての面目があざやかに示された迫力ある講演集。  
全2巻セット定価二九〇〇円

(制作)NHKサービスセンター

## 志賀直哉作品集 全10巻

阿川弘之 監修

各巻定価1650円  
全10巻セット定価16,500円

全10巻の朗読者と作品

(各巻50〜90分)

- |         |                          |
|---------|--------------------------|
| 1 篠田三郎  | 或る朝 網走まで 母の死と新しい母        |
| 2 寺田 農  | 速夫の妹                     |
| 3 井川比佐志 | 范の犯罪 剃刀                  |
| 4 山本 學  | 清兵衛と瓢箪 出来事 好人物の夫婦        |
| 5 鈴木瑞穂  | 赤西蠣太                     |
| 6 名古屋 章 | 城の崎にて 十一月三日午後の事 小僧の神様 真鶴 |
| 7 梅野泰靖  | 焚火 雪の遠足                  |
| 8 滝田裕介  | 雨蛙 濠端の住まい                |
| 9 内藤武敏  | 万暦赤絵 池の縁 クマ              |
| 10 小林桂樹 | 灰色の月 山鳩 朝顔 暗夜行路(序詞)      |

## 志賀直哉短篇集

阿川弘之 解説  
四六判・定価2000円

●文芸カセット『志賀直哉作品集』に厳選された作品をすべて収録。

## 中 勘 助 銀 の 匙 全6巻

渡辺外喜三郎 監修・解説 加藤 剛朗読

全6巻セット \* 14,000円(解説書付)



幼少年期の可憐な姿を子どもだけが持ちうる新鮮で鋭い感覚をもって描かれた作品世界が、加藤剛氏の朗読によって一層の光彩を放つ。

(企画・発行)岩波書店・NHKサービスセンター (制作)NHKサービスセンター

岩波書店

東京都千代田区一ツ橋  
振替 東京 6-26240



\*印の価格には店頭で課税されます。定価は税込価格です。  
(カセット専用テレホンサービス 03-222-5428)

## 盲人用具にも消費税—— 4月



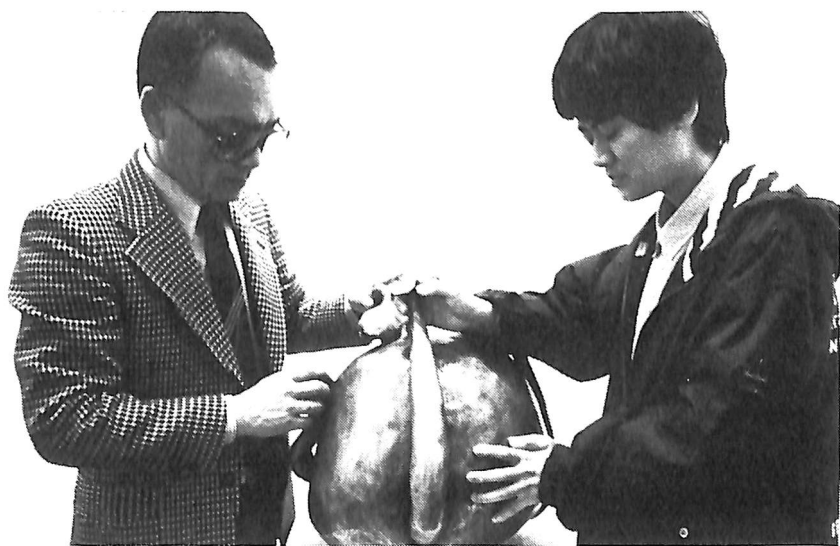
一円玉が必要。日本点字図書館用具部にて。

## またもホームで事故死



埼玉県立川越図書館職員、伊藤毅さん45歳。  
(5月18日午後9時40分頃 於JR東北線蓮田駅)  
(写真 村上琢磨)

## 名古屋でも手で見る彫刻展



4月1日～9日 於名古屋市美術館  
(盲目のカメラマン・中村ただし氏撮影)

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には  
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター  
までお問い合わせください。

## 編 集 後 記

「社会への完全参加と平等」を掲げてスタートした国際障害者年もまもなく最終年を迎えようとしています、この間に果してどれだけの前進があったのでしょうか。ことに「完全参加」の最大の柱である雇用・職域の開拓では、視障雇用連などの地道な活動による幾つかの成果はあるものの、全体としてはさほどの進展はなく、「失明即理療」の図式はいつこうに変わってはいません。そしてその理療の道さえ近年視覚障害者の占有率は低下の一面をたどり、ますます深刻な事態に追い込まれている現状です。そこで本号では、以前から叫ばれてきている「中途失明者の職場復帰」の課題を取り上げ、その実態と問題点を考えたいという意図から特集を企画しました。この特集では、当事者自身の積極的な姿勢と同時に、視覚障害者に何ができ、何ができないか、どんな援助を必要とするのかといった極めて初歩的で基本的な点で雇用者側と周りの働く仲間たちの正しい理解を得るための具体的な手だて、そして着実な努力の必要性が示唆されています。 (金沢 明二)

### 視 覚 障 害

1989年 7 月 No.102

年間購読料 3,000 円 (送料とも)

発行日 1989年 7 月 1 日

編集人 (連絡先)

日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒166 東京都杉並区成田東 5 丁目36番  
15号

電話 (03) 220-1421

振替口座 東京 6-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧 6-26-21

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平 2-9-13  
電 話 (624) 6111 (代表)

協賛団体

日本点字図書館